

都市再生整備計画 事後評価シート

ひろさきしちょうよう
弘前市朝陽地区

令和2年3月

ひろさきし
青森県弘前市

様式2-1 評価結果のまとめ

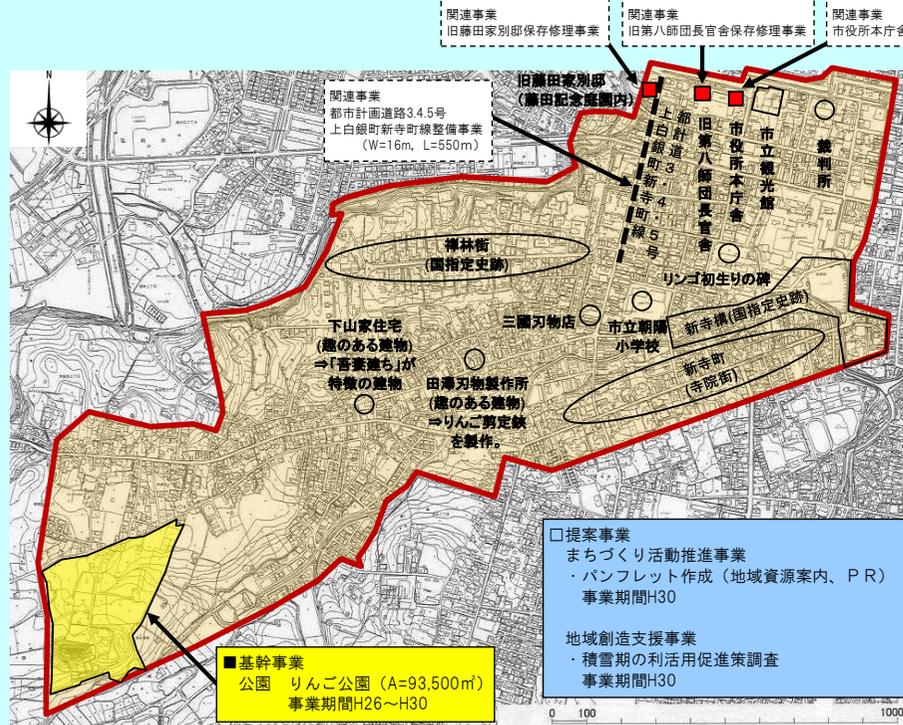
都道府県名	青森県		市町村名	ひろさきし 弘前市		地区名	ひろさきし ちようよう 弘前市朝陽地区			面積	206.7 ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	1,085百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園:りんご公園、高質空間形成施設 カラー舗装・石畳:遊歩道、既存建造物活用事業 観光交流センター:観光館、既存建造物活用事業 地域交流センター:観光館、既存建造物活用事業 まちおこしセンター:観光館										
		提案事業	地域創造支援事業 便益施設:観光館、地域創造支援事業 積雪期の利活用促進策調査:りんご公園、まちづくり活動推進事業 パンフレット作成(地域資源案内、PR):朝陽地区、まちづくり活動推進事業 りんごシンポジウム:りんご公園										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設 カラー舗装・石畳:遊歩道、既存建造物活用事業 観光交流センター:観光館、既存建造物活用事業 地域交流センター:観光館、既存建造物活用事業 まちおこしセンター:観光館				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	・地域創造支援事業 便益施設:観光館 ・まちづくり活動推進事業 りんごシンポジウム:りんご公園				・既存建造物活用事業(観光館)の削除に伴うもの。 ・事業内容を精査したところ、市や関係機関により現状で行われている研修会等と内容が重複しているため。			影響あり			
	新たに追加した事業	基幹事業	なし				-			-			
提案事業		なし				-			-				
交付期間の変更	当初	なし		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	市立観光館来館者数	人/年	540,000	H24	560,000	H30	514,934	506,390	×	あり なし	当該整備計画から観光館整備を削除したことにより、直接整備による事業効果が得られなかったため。	令和2年6月頃
	指標2	りんご公園来園者数	人/年	135,535	H24	210,000	H30	139,249	145,491	△	あり なし	整備工事の期間中、施設の一部が利用できなかったことが指標の数値に影響を与えたが、来園者数は増加傾向となっている。	令和2年6月頃
指標3	りんご公園を活用したイベント回数	回/年	2	H24	5	H30	3	4	△	あり なし	イベント回数の増加が図られた。	令和2年度内	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の数値指標2	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の数値指標3	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年5月6日にリニューアルオープンしたりんご公園は、イベント時以外においても、地区住民等の憩いの場として利用されている。また、りんご公園内の「りんごの家」では、りんごに関する歴史、情報を見て、聞いて、学べる拠点施設となっており、多くの来園者が訪れ利用されることにより、まちの魅力の向上がもたらされている。 拡張したりんご生産園地では、弘前生まれの品種を集約した園地や世界中の観賞用りんごの植栽など、工夫を凝らした整備を行ったことから、今後、四季を通してりんご公園の魅力を発信することが期待できる。 朝陽地区を通過する路線バスが、新たにりんご公園へ乗り入れることとなったことから、来園者の増加が期待できる。 												
5)実施過程の評価	実施内容												
	実施状況												
	今後の対応方針等												
	モニタリング	指標の計測	都市再生整備計画に記載し、実施できた				●			交付期間途中で事業の効果を確認することができた。今後、モニタリング同様に毎年度数値を確認する。			
住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-			-				
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			-				
		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-			-				
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-			-				
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			-				
		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-			-				

様式2-2 地区の概要

弘前市朝陽地区(青森県弘前市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 観光館～りんご公園を軸とした観光・交流まちづくりの推進による交流人口の拡大	市立観光館来館者数	単位: 人/年	540,000	H24	560,000	H30	506,390	H30
目標1: りんご公園を活かした景観づくり、交流づくりを行うことにより、地区住民等が安全で憩える場を創出する。	りんご公園来園者数	単位: 人/年	135,535	H24	210,000	H30	145,491	H30
目標2: 観光館を拠点とした各主要施設との連携を強化し、高齢者、障がい者、市民、観光客、誰もが地区内を回遊できる環境を創出する。	りんご公園を活用したイベント回数	単位: 回/年	2	H24	5	H30	4	H30

りんご公園の整備後の状況



りんご公園の利用状況



まちの課題の変化 地区内に多く存在する観光資源の活用や、景観を活かした地区住民にとっての憩いの交流ゾーンとしての機能発揮及び交流人口の拡大→りんご公園施設が、景観づくりや交流ゾーンとして整備・改修が行われ、機能強化が図られたことから、来園者数の増加やりんご公園を活用したイベント回数の増加につながった。今後は、りんご公園施設を活かした更なる交流人口の拡大が課題である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む) 機能強化が図られたりんご公園施設が、より地区住民にとっての憩いの場となるよう、施設のPRや、来園者数の増加につながるイベント等の開催に取り組み、施設の利用促進に努める。また、更なる交流人口の拡大を図るため、観光館や各主要施設との連携を強化し、誰もが地区内を回遊できる機会を作っていく。